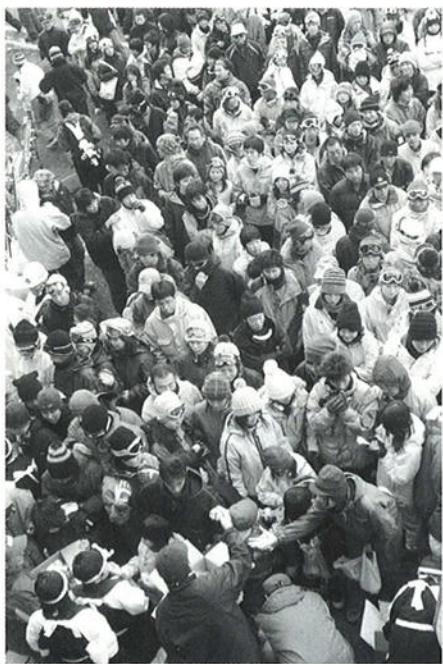


# シーズン幕開けは6年ぶりの雪不足



願い餅、当りくじ入りみかん配りに  
大混雑の会場（スキーセンター前）



リフト運行しなかった中の原スキー場（積雪量5センチ）  
で、自力でゲレンデを登り、滑走を楽しみました

## 百歳おめでとう ございます



花束を手にする提嶋もとさん



シーズンの安全を願う神事

## ～スキー場開き祭～

スキーシーズンの幕開けを告げる「大山スキー場開き祭」が、

12月23日（祝）大山中の原スキー場で行われ、スキーヤー、スノーボーダー約700人が参加しました。

昨シーズンは12月初旬からの雪で記録的な積雪量でしたが、この日は多いところで10センチほど。雪不足のスキー場開き祭は6年ぶりで、恒例のデモンストレーションスキーや、リフトからの祝い餅まきは中止されました。

安全を祈願する神事の後、僧兵に扮した大山小学校5、6年生による餅つきが行われました。

現在の中の原スキー場の様子は、大山町観光ホームページ (<http://www.daisen.jp/kanko/>) のライブカメラをご覧ください。

大山町国信の提嶋もとさんが、昨年12月22日にめでたく満百歳を迎える、町からお祝いに出向きました。  
もとさんは、現在、介護老人保健施設サンライズなわに入所中で、お祝いの当日には、入所者の皆さんと一緒に集まり祝福しました。もとさんの喜びの表情が大変印象に残りました。  
もとさんに、「サンライズなわでの生活はどうですか」と尋ねると「とても楽しいです」と元気な返答がありました。  
これからも元気に楽しくお過ごしください。

た。もち米は5年生が育てたもの。重い杵を一生懸命振り下ろす児童に応援の声がかかつていました。

岡山県からの参加した4人家族は、「大山には毎年滑りに来ますが、子どもを連れては初め

が、初級者から上級者まで楽しめるスキー場なのでまた来たいです」と話し、ご夫婦はスキー

をお子さんはそりを楽しんでいました。